

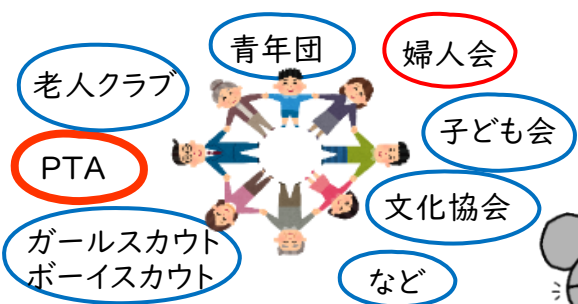


# 社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第62号  
令和8年1月23日  
主任社会教育主事  
竹内実佐恵・大谷彩

## 社会教育関係団体



### 【社会教育法 第10条】

「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするもの



前回の61号では、婦人会の取組から見えた「郷土料理づくりを通じた地域のつながり」についてお伝えしました。今回は、子どもたちが健やかに育つように、保護者と教職員、そして地域の方々が手を取り合って、いっしょに学び、支え合う集まり、「PTA」についてお伝えします。

## 子どもたちの未来を育む、大人たちの学びとつながり

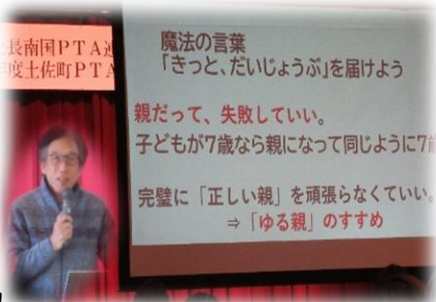
毎年、高岡地区・吾川郡・土長南国地区のPTA連合会（連合協議会）がPTA研究大会を行っています。今年度も各地区において、単位PTAの実践発表があったり、子どもたちのオープニングセレモニーがあったりとそれぞれの地域の特性を生かしながら、子どもたちの成長を支えるための素敵なヒントがたくさん共有されました。地域・学校・家庭で共有したい“学びのエッセンス”をお届けします。

## 土長南国地区 大人も子どもも共に育つ（共育）と「ゆる親」のすすめ



平賀会長より、  
大川小中学校PTA  
の取組発表

愛園・愛校作業には128名（大川村人口の1/3）もの方々が集まってくれたとのこと、“地域とともにある学校づくり”がなされていることを感じました。



西野 博之氏  
(NPO法人フリースペースたまりば理事長)

不登校や生きづらさを抱える子どもたちの現状から、大人のあり方を問い直しました。

「早くしなさい！」  
「これはやっておかないと！」  
言ってたなあ…(反省)

### ○子どもの幸福度と大人の関わり

子どもの自己肯定感が低い背景には、大人の不安からくる「先回り」が子どもの自信を奪っている現状があります。幸せとは「自分で選べる・自分のペースで進める・自分の思いが受け止められる」ことで感じられるものです。

### ○家庭での「3つのない」

「比べない・急がせない・押しつけない」ことが重要です。また、大人の「よかれ」が子どもの「迷惑」になることもあるため、時には「何もしないこと」を保障する姿勢も必要です。

### ○「ゆる親」と「共育」

完璧な親を目指すのではなく、親も迷いながら共に学ぶ「ゆる親」が推奨されます。子育ては一方向の教育ではなく、大人と子どもが影響し合いながら成長する「共育」の時間です。

### ○家庭・学校・地域の連動

家庭は「安心の根っこ」、学校は「探究・成長の場」、地域は「見守り・支える場」として連動することで、子どもが自分らしく育つ環境が整います。

## 中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します

この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。社会教育に関わる活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail [310305@ken.pref.kochi.lg.jp](mailto:310305@ken.pref.kochi.lg.jp)





# 社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第62号  
令和8年1月23日  
主任社会教育主事  
竹内実佐恵・大谷彩

## 吾川郡 行動に注目する「ペアレント・トレーニング」



久武 タ希子 氏  
(TOMOはうす代表)

### ○性格ではなく、行動を見る

「気配りができない」といった性格や主観等で判断するのではなく、「見える・聞こえる・数えられる」という、映像が見えるように子どもの行動を表現し、捉えます。 例) あいさつをする。 例) 妹のお世話をする。



耳に聞こえるね。



「おはよう」と言う。

お世話とは?



妹に絵本を読んであげる。

### ○行動を実況中継する

「見える・聞こえる・数えられる」行動を実況中継するには、子どもを見ていないとできません。子どもは「自分を見てくれている」という安心感を持つことができるし、親にとってもほめる場面が増えていきます。

### ○共通理解での関わり

子どもの具体的な行動(映像が見えるように表現された行動)を共有することで、周囲の大人たちが一貫性を持って支援することができます。

ワークやロールプレイを通じ、日々の子どもとの接し方を振り返り、子どもとの肯定的な関わり方について具体的な手法を学びました。



池川小学校全校児童によるマーチング「宇宙戦艦ヤマト」は、元気さと力強さが伝わり、アンコールしたかったです。



## 高岡地区

## 言葉の力でやる気を引き出す「ペップトーク」

### ○ペップトークの本質

「短く・分かりやすく・肯定的」な言葉を使い、相手をその気にさせるトーク術です。親や指導者は、子どもの夢を応援する存在であり、信頼関係に基づいた本気の言葉こそが子どもの心に届きます。

### ○応援のサイクル

日々の練習での声かけ、本番前の「きっとできる」という背中の一押し、本番後の振り返り、そして再び日々の練習へと、サイクルで関わり続けることが重要です。

### ○2つの言葉変換

- ・「捉え方変換」: 「難しい」を「やりがいがある」と、事実を受け入れた上で前向きに言い換えます。
- ・「してほしい変換」: 「遅刻しないで」などの禁止型ではなく、「時間を守ろう」という具体的な行動をイメージできる言葉に変えます。

### ペップトークとは!

- ・短くて
- ・分かりやすく
- ・肯定的な言葉を使い
- ・人の魂を揺さぶり
- ・その気にさせるトーク!



神山 智代 氏

(のびるっこclub代表)

相手をその気にさせる「短く・分かりやすく・肯定的」な言葉がけであるペップトークについて学びました。



忘れ物  
しないでよ。



してほしい変換!!



明日の準備を  
しよう!

認定こども園おちの子  
越知小学校  
越知中学校  
保護者会長、PTA会長より取組発表